

**あいさつは人間関係の基本**

以前、中学校に勤めていたときに、進路指導の関係から高校の校長先生方や企業経営者の方方とお話をする機会が度々ありました。その中で、多くの方が「あいさつは大事ですよ」とおっしゃっていました。それは、面接試験で印象をよくするためということではなくて、組織内の人間関係づくりや雰囲気づくりにあいさつが大きな役割を果たしているということです。確かに、買い物をしたり、仕事で他の会社を訪れたりしたときに、明るいあいさつで迎えてもらえると、「いい雰囲気のお店だな」とか「社員教育がよくなされているな」と思いますよね。そういうお店や会社にはまた行きたくなくなります。高校ではそういう人材を育てようとしておられるし、企業も求めておられます。

たかがあいさつかもしれませんが、誰にでもできる大切なこと、それがあいさつだと思います。将来、どこに出しても恥ずかしくない人材を育てるために、本校では、あいさつができる子供の育成に力を入れていきます。

朝起きたら、まず家族に「おはよう（ございます）」。登校途中で地域の方に「おはようございます」。学校に着いたら友達や先生に「おはよう（ございます）」。そう言うんだよということを、大人や先輩たちがしっかり教えてあげて、実際に「おはようございます」の声を発することが必要だと思います。形式的なあいさつはいかがなものか、というご意見もあるかもし

れませんが、私は、小学校低学年の段階では、それでもよいのではないかと考えています。要は、習慣づくりです。そして、学年が上がるにつれて、時と場に応じたあいさつができるようになっていけばと思います。

ところで、「おはようございます」というあいさつは、元々はどんな意味だったのでしょうか。「おはよう」ですので「早い」に関係がありそうですが、何が早いのでしょうか？

一説によると、「お早くお起きになって、健康でおめでとうございます」から来ているそうです。「あなた早く起きましたね。健康で何よりです」と、相手の健康をお祝いするわけです。昔は、朝会った人にそうやってあいさつをしていたのが、だんだん短縮されて「おはようございます」になって今に至っているそうです。

相手の健康を思う気持ちがあるあいさつの言葉として生き続けているなんて、素晴らしいことです。日本のよさ、日本語のよさをいつまでも受け継いでいきたいものです。

**新職員紹介**

10月1日付けで、宮本竜成（みやもと りゅうせい）先生が着任されます。若さ溢れる男性職員です。吹奏楽に堪能で、サクソを演奏されるそうです。

宮本先生には、特別支援学級（たんぼぼ1・2・3）の副担任をしていただきます。

よろしくお願ひします。

**コロナ禍の学校行事**

◆修学旅行を9月29・30日に予定しておりましたが、熊本県のまん延防止等重点措置期間が9月30日までに延長されたことに伴い、10月17・18日に延期しました。

◆集団宿泊教室は、予定どおり10月12・13日に実施予定です。本年度は町内3小学校が合同で、あしきた青少年の家に行きます。

◆11月に予定されていた人吉市の犬童球溪顕彰音楽祭学校発表会は中止となりました。碑前祭のみ実施されます。（本校の参加はありません。）

**10月の主な行事予定**

- 1日(金) 委員会活動
- 5日(火)～7日(木) 諸費納入日
- 5日(火) クラブ活動①
- 6日(水) PTA運営委員・地区代表合同会議
- 8日(金) 1年生活科体験(南稜高校)
- 12日(火)～13日(水) 5年集団宿泊教室
- 15日(金) いきいき芸術体験教室
- 17日(日)～18日(月) 6年修学旅行
- 19日(火) 6年振替休業日
- 20日(水) スクールカウンセラー来校日 錦中公開授業(午後全職員参加)
- 21日(木) クラブ活動②
- 29日(金) クラブ活動③④

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更する場合があります。